

たんぽぽ だより



赤碕福祉会 基本理念

一、報恩感謝 一、奉仕精神

第103号 平成30年7月発行

平成30年度 法人スローガン 「チームカ」

社会福祉法人 赤碕福祉会
介護老人福祉施設 百寿苑
百寿苑デイサービスセンター
百寿苑きらりデイサービスセンター
百寿苑ヘルパーセンター
グループホームあかさき
グループホームきらり
グループホームはなみ
あかさき介護支援センター
鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1061-3
(0858) 55-2051

琴浦にっこにご食堂オープン!



琴浦町内の社会福祉法人（琴浦町社会福祉協議会、立石会、赤碕福祉会）が地域に求められるサービスを協働で考え、琴浦町社会福祉センターにて子どもの居場所「琴浦にっこにご食堂」を開きました。琴浦町内の子どもたちが安心して信頼できる大人と過ごせるような子どもたちを支える場、訪れた方がにっこにご笑顔になれる場を目指しています。



高齢の方の水分補給について

高齢者の方は、体温の調整機能が落ちてくるため暑さを自覚しにくく、室内でも熱中症や脱水にかかりやすいと言われています。こまめに水分を摂って頂くことが大切です。

・百寿苑では、水分を欲しがられない方にも、様々な飲み物を用意し提供しています。喉越しの良いお茶ゼリーやカルピス、サイダーやラムネ、ミックスジュースなどは、好んで飲まれる方が多くいらっしゃいます。

・「薬を飲むときはコップ一杯の水をしっかりと飲むと体の中でよく溶けて効きますよ」と声をかけると、しっかりと飲まれることがあります。

・お茶ゼリーを作る時は、寒天よりゼラチンを使った方が口当たりが良くできます。また、砂糖を少し加えるのがポイントです。



特養 医務の 知恵袋



▲お茶ゼリー

暑い日が続きますが、元気に乗り切っていきましょう!

ボランティア様

※4・5・6月にお越し頂いた方を掲載しております。

心より感謝申し上げます。

- 足立一子様…草取り、傾聴、体操 清山多美子様…畑の整備
- 向井様、福本様…畑の整備 ゴールデングループホンダ様…歌・踊り 黒住教様…草取り
- 赤碕日赤奉仕団様…草取り・喫茶 ひまわり会様…歌・紙芝居・作品作り
- 大谷順子様・灘吉陽子様…お茶・お花 桃源歌謡クラブ様…歌 秦野俊子様…傾聴
- ふくろうの会…大正琴 岩崎和栄様…おやつ作り ことの会様…傾聴
- 谷川豊様…オカリナ演奏 山本明様…窓拭き 明石蔦子様…体操
- きらり地区子供会、山本智彦様…花植え、草取り、畑作業 中村信子様…畑の草取り
- 澤田憲子様…体操 小泉和枝様…体操、傾聴 田中健二様…畑の整備



▲黒住教様



▲谷川豊様



▲桃源歌謡クラブ様



▲ゴールデングループホンダ様

寄贈

- 森川様…花 奥田様…花
- 住野様…いちご 田中様…食器 豊嶋様…野菜 山本様…スイカ 小谷様…スイカ

誠にありがとうございました

【編集後記】今年の百寿苑夏祭りは8月21日(火)です。祭りのテーマは「輝け地域と共に百寿苑」です。この日が1年で最も百寿苑が賑わう日です。夏の夜空の下、皆様と共に輝きが広がりますように…(*^_^*)

研究発表 中国大会出場決定!

平成30年度鳥取県老人福祉施設職員研究会にて3事例の発表を行いました。審査により中国大会に出場となりました。



「継続は力なり～シーティングでの関わりを通して～」

介護度が高くなると自力での座位が困難となります。

しかし、福祉用具の使用や残存機能を生かしたりハビリを行う事で自力での座位保持が可能となってきます。そして、意識レベルや認知能力の改善にも繋がってきます。2年間の取り組みの研究です。



「先手必勝～入苑者のにやりを求めて～」

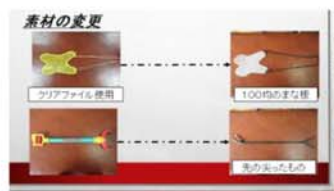
リスクや事故などマイナス面に目が行きがちになります。

しかし、180度発想と視点を変えて、入苑者の出来た事や好きな事や良い事に着目します。視点と意識を変える事で入苑者と職員の言動に変化が出てくるのではないかという研究です。



「自立支援に向けて」

介護士の疑問から理学療法士に相談、マジックハンドやソックスエイド等の道具を導入することで3時間かかっていた更衣時間が30分に短縮されました。



ナスのみそチーズ焼き

【材料(4人分)】

- ナス 2本(約200g)
- 味噌 大さじ2
- みりん 大さじ2
- チーズ(スライス) 2枚
- きざみネギ 少々
- サラダ油 大さじ2

【作り方】

- ① ナスは厚めの輪切りにして、水につけてアクを取っておく。
- ② フライパンに油を熱し、ナスを両面焼く。
- ③ 味噌とみりんを混ぜて、ナスの上のにのせ、チーズものをせたらチーズが溶けるまで焼く。
- ④ 最後にきざみネギをのせて完成。

【ポイント】味噌の代わりにケチャップや明太子をのせても美味しい!

夏野菜を食べて
元気な毎日を!

百寿苑キッチン!



抗酸化力、疲れ目予防
夏バテの緩和

生活習慣病、がんの予防
老化の抑制

疲労回復、老化の抑制
ねばねば成分が整腸作用

ビタミンC、ミネラル豊富、苦味成分に整腸作用

平成29年度 事業報告

平成29年度を振り返って

平成29年度は社会福祉法人制度改革に伴い、理事会・評議員会の役割が変わり新たな組織体制でのスタートとなりました。役員の皆様にはその任務と責任を果たすべく法人運営に尽力頂きましたことに心よりお礼申し上げます。

平成29年度は社会福祉充実残額の算定に伴い、社会福祉充実計画の策定・承認、計画の実行と法人運営につきましてチャレンジの年でもありました。その実績につきましては、職員の処遇改善・専門職の採用・固定資産の取得がありますが、後の事業報告で詳細を報告させていただきます。

社会福祉充実計画の一つ、専門職の採用は法人の職場風土、介護現場において新しい風を通してケアの専門性の向上に繋げることができました。二つのデイサービスに理学療法士を配置し利用者の個別機能訓練を充実することで、中部管内の病院・地域連携室への広報活動、高齢者宅への広報活動を行ったことも効果を上げ、百寿苑が機能訓練の場所として地域の皆様に認識していただく機会となりました。

計画の二つ目、利用者の生活環境の改善としてグループホーム入居者の入浴環境の改善として特殊浴槽の導入を図りました。平成30年度の課題として他のグループホームへの特殊浴槽の導入を浴室の増築も含めて検討中です。

認知症ケアへの取組みとして「体調を整えるケア」+「プライドを大切にされたケア」を基本とし、法人全体で認知症重度化予防に取り組むことで、職員の認知症ケアに対する意識統一を図ることができました。年度末の苑内研究発表において、多くの取組事例の発表へと繋げその成果をあげることができました。

このように、平成29年度においても様々な事業に取り組む事ができましたのは、ひとえに地域の方々のご理解・ご協力のたまものと深く感謝しております。平成30年度は社会福祉充実計画の2年目となり、特養改修工事・グループホーム増改築と特殊浴槽の導入・職員処遇の充実を計画しております。また、介護報酬改定の年でもありより充実したサービスに報酬が加算されることを踏まえ、その重点施策である利用者の機能訓練・栄養改善等に取り組んでまいります。

また、社会福祉法人制度改革の実施により、社会が社会福祉法人に求める役割は大きく変化していくものと考えます。当法人としては地域のニーズに応え続けられるよう、堅実な法人運営を図るとともに、福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 赤碕福祉会
理事長 井木 久博

平成29年度 決算報告

資金収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位千円)

| 借 方 | | 貸 方 | |
|----------|---------|----------|---------|
| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
| 事業活動支出 | 572,345 | 事業活動収入 | 636,000 |
| 施設整備等支出 | 24,198 | 施設整備等収入 | 50 |
| その他の活動支出 | 452 | その他の活動収入 | 0 |
| 当期資金収支差額 | 39,055 | | |
| 合 計 | 686,050 | 合 計 | 686,050 |

事業活動計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位千円)

| 借 方 | | 貸 方 | |
|----------|---------|---------|---------|
| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
| 事業活動費用 | 615,367 | 事業活動収益 | 632,036 |
| 事業活動外費用 | 2,225 | 事業活動外収益 | 3,964 |
| 特別費用 | 1 | 特別収益 | 248 |
| 当期活動増減差額 | 18,655 | | |
| 合 計 | 636,248 | 合 計 | 636,248 |

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位千円)

| 借 方 | | 貸 方 | |
|---------------|------------------|----------------|------------------|
| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
| 現金・預金 | 593,386 | 流動負債 | 54,941 |
| その他の流動資産 | 95,422 | 固定負債 | 3,346 |
| 流動資産合計 | 688,808 | 負債合計 | 58,287 |
| 基本財産 | 717,585 | 基本金 | 105,790 |
| その他の固定資産 | 323,895 | 国庫補助金等特別積立金 | 95,858 |
| | | その他の積立金 | 241,000 |
| | | 次期繰越活動収支差額 | 1,229,353 |
| | | (内、当期活動収支差額) | 18,655 |
| 固定資産合計 | 1,041,480 | 純資産合計 | 1,672,001 |
| 資産合計 | 1,730,288 | 負債純資産合計 | 1,730,288 |

自立を支える

介護技術の豆知識

介護をするときの基本となるスタンスは、あくまでも本人の「自立を支える」ことです。なんでも介護者が手を出してやってしまうと、今できていることもできなくなってしまいます。



手指の動きが悪くて食事をこぼしてしまう場合

口まで食べ物を運んであげるのではなく、その人の使いやすい形のスプーンやお皿を使って、自分で食べることを見守るようにします。



衣服のボタンを留められず1人で着替えられない場合

ボタンをマジックテープに変えて自分で着替えられるようにします。

できることとできないことを見極めて、介護者は必要な手助けにとどめることが大切です。



～備えと守りを学びました～

炊き出し訓練

5月15日、災害時を想定しライフラインが全て止まった時の非常対応に備え、炊き出し訓練を行いました。災害備蓄品の置き場の確認からはじまり、実際に「おこわ」「豚汁」を作り、細かい手順を学ぶことができました。いざという時に慌てず落ち着いて炊き出しを行うことが出来るよう、訓練を重ねていきたいと思えます。



苦情解決事業報告会

利用者様・家族様・地域住民の方から多くの貴重なご意見を頂きました。心より御礼申し上げます。

4月16日「平成29年度下半期 苦情解決事業報告会」を実施しました。第三者委員3名の方からいただいた貴重な意見の一部をご紹介します。

- ・送迎の間違いが起きないように、チェックリスト、ダブルチェックの仕組みが必要です。
- ・デイサービスの迎えを自宅にて一人待つことに強い不安を感じる方もあるようです。事故が起きないようにご家族の方と居宅ケアマネ、事業所（デイサービス、ヘルパー）がこれからも連携を図ってほしいと思えます。
- ・広報誌、ボランティア様の掲載について、漏れの無いようお願いいたします。

いただいた意見を職員間で共有し、改善に繋げよりサービス向上に努めていきたいと思えます。



苦情受付

○ご意見箱（玄関に設置しております）

○電話 0858-55-2051

○FAX 0858-55-2445

○e-mail: hyaku_1@mx1.tcbnet.ne.jp

○ホームページ <http://www.hyakujuen.jp/>

※ご意見を頂いた方の秘密は厳守いたします。

きらりデイサービスセンター

ふれあい交流会

平成30年6月17日



地域で生活される高齢の方々の日々の健康作りのお手伝いと、交流の場を設け、楽しいひと時を過ごしていただくことを目的に「ふれあい交流会」を開催しました。計30名参加頂き、フェルト作品作り、健康に関する講演、理学療法士による体力テストをされた後、おはぎ・豚汁で会食。皆様との「ふれあい」に感謝です。



作品作り



健康講演



体力テスト



地域公民館活動もしています



きらりデイサービス介護士の隠岐です。
定期的に地域の公民館に出かけて、健康管理についての座談会を開催、頭・指先・全身を動かす体操をしています。地域の方々が、いつまでも健康で現在の生活を継続できるようこれからも取り組みを継続して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

主に金屋、下伊勢、別所、西町、笠見、尾張、東三軒家の公民館にて活動を行っています。皆さん一緒に楽しみましょう！

琴浦にっこにご食堂

琴浦町社会福祉センターにて

6月13日、第1回「琴浦にっこにご食堂」をオープンしました。琴浦町社会福祉協議会、立石会、赤碕福祉会の職員、住民ボランティアが調理、見守り（学習・遊び）等に分かれ運営しました。17時を過ぎる頃には赤ちゃん連れのお母さん、元気な小学生、地域の高齢者の方など40名を超える方が来て下さいました。第2回は7月11日に開催、次回は8月8日（水）です。どなたでも利用可能です。ぜひお越しください。



こども食堂

次回開催
8月8日（水）
15:30~19:00
子ども100円
大人200円

※小学校からの送迎も
事前相談に応じて
行っています。



学習支援



遊び

えんくるり事業とは...

「生活のしづらさ」を抱えているにも関わらず必要な支援を受けられないなど、地域における福祉課題・生活課題が深刻化しています。

このような課題に対応するため、鳥取県内の複数の社会福祉法人が連携し、支援を必要とする方を支える仕組みを創り自立支援を行う「生計困難者に対する相談支援事業（愛称：えんくるり事業）」を実施することといたしました。

本事業を通じ、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく自立した生活を送ることができる「ふだんの暮らし」を支援する取り組みを推進していきます。



ことカフェinはなみ

連絡先：グループホームはなみ 55-6120
参加費：無料（募金を受け付けています。ご協力をよろしくお願いいたします。）

グループホームはなみでは毎月1回（第3水曜日）『認知症カフェ』を開催しています。認知症の方やその家族、地域の方が気軽に集い介護や福祉の情報交換を行っています。琴の浦高等特別支援学校生徒の皆さんが野菜の販売を行ったり、コーヒーなどを飲みながらおしゃべりしたり、新わくわく琴浦体操など内容盛りだくさんの楽しいカフェです。ぜひお越しください！

